

福岡市レディースバドミントン連盟

【設立年月日】1987（昭62）年4月8日

【加盟年月日】2010（平22）年5月27日

【歴代会長】

1987（昭62）年～1996（平8）年

吉田信子

1997（平9）年～現在 安武壽子

【歴代副会長】

1987（昭62）年～1996（平8）年

原田ヒサ子

1997（平9）年～2002（平14）年

友永順子

2009（平21）年～現在 松岡順子

2011（平23）年～現在 金子正子

【歴代理事長】

1987（昭62）年～1996（平8）年

安武壽子

1997（平9）年～2006（平18）年

興膳律子

2007（平19）年～2008（平20）年

桑畑理恵

2009（平21）年～現在 近藤房子

【沿革】

「福岡市家庭婦人バドミントン連盟」を前身として発足した当連盟は、福岡市7区の加盟団体で構成され、各区から選出された理事を中心に運営されています。

折しも連盟設立当時に市民総合スポーツ大会が創設され、第1回から参加させて頂くようになったほか、「とびうめ国体」、「ユニバーシアード福岡大会」等、福岡を舞台に相次いで開催された全国規模、世界規模のスポーツ大会にもボランティアとして参加する機会に恵まれました。

1995（平成7）年には体育協会の薦めとご指導の下、福岡市・釜山廣域市家庭婦人バドミントン大

会を開催、その後も数回に渡る交流を重ね親睦を深める等、バドミントンを通じた国際交流にまで活動の幅を広げることができました。

こうした連盟の活動が実を結び、2002（平成14）年には文部科学大臣賞（社会体育優良団体）を、2003（平成15）年には福岡市スポーツ賞を受賞する栄誉に浴しましたが、これも関係機関のご指導や会員の協力の賜物との思いを胸に、受賞を機に更なる飛躍を誓いました。

そして、2007（平成19）年には連盟創立20周年を迎え、記念大会を開催、400名が熱戦を繰り広げて大会を盛り上げたほか、大会後のレセプションも多方面からの参加を得て、大盛況の中20周年を祝うまでに至りました。

さらに、連盟の足跡を振り返りつつ、加盟クラブを紹介した記念誌「あゆみ」も発行して一区切りとしつつ、「家庭婦人連盟」から「レディース連盟」へと改名し、幅広い女性会員とともに新たな一歩を踏み出しました。

当連盟は、今後も、レディースバドミントンの普及、会員相互の親睦、健康増進、スポーツ振興をモットーに、明るく楽しく元気よく活動して行きたいと思えます。

【現在の活動】

○福岡市レディースバドミントン大会

年1回のランクアップ戦で、家事・育児を忘れ、日頃の練習の成果を出し切ります。

○初心者交歓会

ラケットを持って間もない人や、経験が少ない初級者が一同に集まり、バドミントンで楽しい交流をします。



○実技講習会

素晴らしい指導者を招き、ランク別に分かれてきめ細かい指導を受け技術向上を目指します。



○ゴーゴー親善交歓会

50歳以上の会員同士が勝敗にこだわらず、いろいろな人と楽しく交流します。



○市民総合区対抗バドミントン大会

予選を勝ち抜いた選手が15ダブルスの団体戦を行います。区が団結する大会といえます。



○7区会長会

各区の会長に、連盟の事業説明や各区の情報交換、また、会長交流の場とします。

○レディースだより発行

年2～3回、会員の皆様に連盟の活動等を知らせる広報紙で、理事の手作りが魅力です。

○「市民総合スポーツ大会」総合開会式

150名のレディースが、シャトルを手にかざして行進します。

開会式終了後、大縄跳びに参加します。

○「シティマラソン福岡」ボランティア

早朝からのボランティアですが、ランナーの完走を願って笑顔でお手伝いをしています。

【結 び】

現在登録数700名のレディースバドミントンの会員も、生涯スポーツ志向と、競技スポーツ志向に分かれる中、そのニーズに応える事業をしていく事が今後の課題と思われます。

これからも、レディース連盟として、バドミントンの普及と会員相互の連携を図り、活動をしていきたいと思ひます。